

社長ご存じですか？

採用での「見える化」による、最適な人材の見極め方

合同会社 I アンド S 代表社員 長谷川 理恵さん



産業カウンセラーやキャリアコンサルタント、キャリアコンサルティング技能士2級などの資格を次々に取得。そして、福岡県若者しごとサポートセンターに勤務後、北九州市子ども・若者応援センター「YELL」の立ち上げに参画。勤務後でニートの若者から社会人までを対象に延べ1万3千人と面談。2015年3月に同社を設立、代表社員に就任。将来的には自由な雰囲気のある私塾「わかものワークライフ大学」を設けて、若者らの新たな雇用を生み出す仕組みづくりを目指す。

「会社の状況を理解して動いて欲しい」「会社の方向性にベクトルを合わせて欲しい」……。多くの経営者は同様の悩みを抱えている。一方、社員も多くは、「自分なりに頑張っているのだが、理解してもらえない」「もっと自分らしく働きたい」などの思いを抱きながら働く。このような現状下、さまざまなトラブルの火種も水面下に抱えている。今回、企業経営を脅かすリスクを明らかにしながら、その

「処方せん」を考えてみたい。

人材採用や労務管理で知っておきたいリスク

最近耳にする退職トラブルや退職後の未払い残業代請求など、今日の企業経営には多岐のリスクが存在する。このほか、セクハラ問題やパワハラ発生、情報漏えいなど企業の存続に関わる危険性もはらみながら経営者は日々、経営の舵を取っている。

なぜ今日、企業経営におけるリスクが高まったのだろうか？

この点について、合同会社 I アンド S 代表社員の長谷川理恵さんは、「かつて社長が自ら経験した時代背景と今日は大きく異なり、いまの社員の価値観や判断基準は違います。その結果、社長と社員の間に社長が考えるより大きな『常識』のギャップがあります」と解説する。その上で、「まずギャップのありかを知り、社員それぞれを理解することが重要です。理解しないままでは対応するとトラブルになり、時として火に油を注ぐ結果にもなりかねません」と助言する。

適性診断で明らかになる人材採用のリスク

経営者と社員のギャップ解消に向けて長谷川さんが、力を入れているのが国の助成制度による社内研修だ。企業の人材育成と労



適性診断の結果に基づいての面談も実施

働者の職業能力開発を目的に経費や賃金を助成する厚生労働省「人材開発支援助成金」を活用し、キャリアコンサルティング事業を展開、その中で適性診断「NET*ASK」を用い、社員の資質や適性を見極めている。社員への適性診断後に面接して行う社長へのコンサルティングでは、「自分の判断を確信した」「ボンヤリしていた社員が診断結果で明らかになった」という声も多い。パソコン上で簡単に回答できるNET*ASKでは人材採用時のリスクも事前に把握可能だ。

これらの採用リスクの詳細や対応策について、長谷川さんは今後、セミナーや講演会などの場で情報発信していく考えだ。「社長と社員の『通訳』として、コミュニケーションを『つなぐ』存在でありたい」と考える長谷川さんは、「まず社長自身で適性検査を体験してほしいかがでしょうか」とほほえむ。

適性判断ツール「NET☆ASK」体験セミナー「人材採用の『見える化』で最適な人材を見極める！」

日時：6月14日(水)16:30受付 17:00開始(～19:00)
会場：Bizreadセミナールーム
福岡市中央区渡辺通3-6-15 NMF天神南ビル3F
料金：5,000円 (NET☆ASK診断料のみ)

主宰／合同会社 I アンド S (代表社員 長谷川理恵)
福岡市中央区大名2-10-2
シャンポール大名B棟503 〒810-0041
TEL092-791-1498 FAX092-791-1641
http://i-and-s.net

セミナー申込・資料請求書

セミナー参加 資料希望

会社名

お役職

お名前

〒

連絡先: ☎

()

E-Mail:

@

ファックスもしくは
Bizread Web Press
から申し込みください
FAX092(791)1641